

# 平和町県営住宅 32・33号棟



平和町団地は、1982年に最初の総合リハビリ計画を策定し、順次建替や住戸改善を進めてきた。32・33号棟の建替えにおいては、金沢らしい街並みを具現化するため計画当初から踏襲してきた地場瓦の屋根なみを採用した他、緑の保全、透水性舗装による雨水浸透、また外断熱やペアガラスなどを採用して省エネルギーに配慮した。  
(平和町団地 全体925戸／ 32・33号棟 56戸)



ダイニングキッチン



和室



洗面室



トイレ



共用廊下



#### ■配置計画

敷地形状に合わせ、道路に平行の直線配置とした。  
切妻部は階数を落とし、街並みに変化をつけた。  
既存の桜並木を保全するため、なるべく空間をあけて住棟を配置した。

#### ■共用部計画

片廊下+階段室型の混合型とし、建物南北の通り抜けできるよう階段室の1階を通り抜け通路とした。  
住戸玄関前の左右に配置したメーターボックスを利用し、アルコーブを設けた。  
1階共用廊下下部は、設備幹線経路として利用できるようトレンチとした。

#### ■住棟デザイン

平入り瓦葺きとし、大きく切妻屋根をかけた。  
バルコニー側サンルーム、防風スクリーンにガラスを採用し、横は庇スラブ、縦は小柱によりシャープで陰影のあるファサードデザインとした。

#### DATA

##### ①居住施設

金沢市平和町2丁目地内

(32号棟)平成19年9月～平成20年9月

鉄筋コンクリート造:地上5F 38戸

のべ2,742.52㎡

(33号棟)平成21年12月～平成23年1月

鉄筋コンクリート造:地上5F 18戸

のべ1,306.59㎡